

田原市立赤羽根中学校

家庭教育力の強化を図ろう

～子とともに、楽しみ、学び、育つ赤中PTA～

学校紹介

昭和 22 年開校した赤羽根中学校は田原市のほぼ中央に位置し、太平洋に面した小高い丘に建つ。

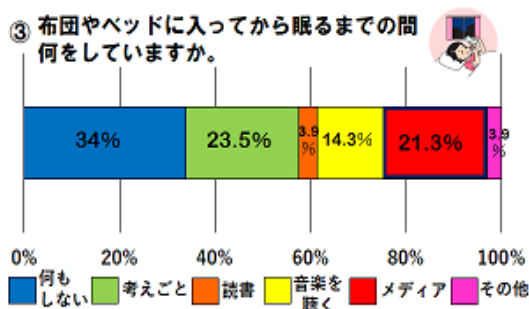
令和 3 年度には泉中学校と統合し、現在、学級数は特別支援 3 学級を含め 10 学級、生徒数 216 名である。PTA 会員は 192 世帯で、理事会は広報、教養、生活環境、保健厚生 の 4 つの委員会で構成されており、統合した 2 つの中学校のよさを大切にしなが、「新生赤羽根中学校」としての新しい学校づくりに向けて取り組んでいる。



研究のねらい

新生赤羽根中学校としてスタートし、子どもたちは明るく元気のよいあいさつで 1 日をスタートしている。例年実施している PTA 委員を対象にした「冬休みモニター調査」においても、90%以上が「あいさつがよくできる」と解答している。し

かし、PTA 委員の一部からは、朝からどこか元気がなく、心配な様子で登校しているという声もあった。そんな話題から、全校生徒を対象とした生活リズムに関するアンケート調査を実施したところ、朝食や起床、就寝時刻等について、家庭での過ごし方の実態と課題が見えてきた。そこで、子どもたちの状況と家庭の現状を踏まえて、どのようにしたら家庭教育力を向上させることができるか、その手がかりとなる視点と具体的な実現への課題を整理することを中心に PTA 活動に取り組むことにした。



研究の仮説

親子が家庭・学校という場でともに学び合いながら驚きや感動、喜びを共有し合うことで、家庭教育を充実させることができるであろう。

研究の方法

「親子のコミュニケーションを促進する」「親子での学習機会を充実させる」「保護者の意識改革を進める」を 3 つの柱とした PTA 活動を推進することで、家庭教育力を充実させることができたかを考察する。

研究の実践

★親子で盛り上がった体育祭

4月に行った体育祭では、保護者自由参加の「玉入れ」、PTA理事・教員合同チームも参加し生徒と対戦した「綱引き」を行った。

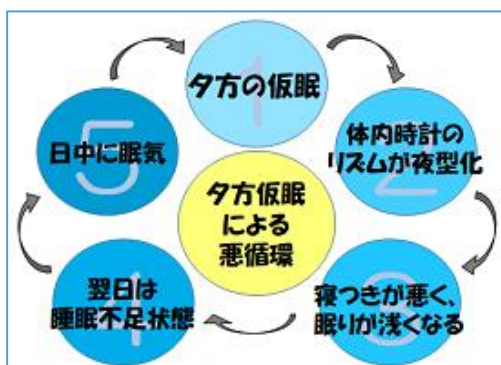
保護者が子どもとともに、教員が生徒とともに競技を行うことで楽しい気持ちを共有できただけでなく、中学生徒なり、心が成長して少なくなったふれあいを増やすことによって、さらに絆を深めて親子としての信頼を深めることができた。



★学校保健委員会 ～睡眠～

「生活リズム向上プロジェクト～早寝・早起き・朝ご飯で今日も絶好調！～」をテーマに学校保健委員会を開催した。本年度は全家庭に参加を呼びかけて開催した。アンケート結果をもとに、赤中生の睡眠の傾向や改善点について、クイズを交えながら考え、その後、

田原市役所健康課の保健師の方から、睡眠の重要性や生活リズムを整えるために大切にしたいことを話していただいた。子とともに大人も同じテーマで、共に考えられるよい機会となった。



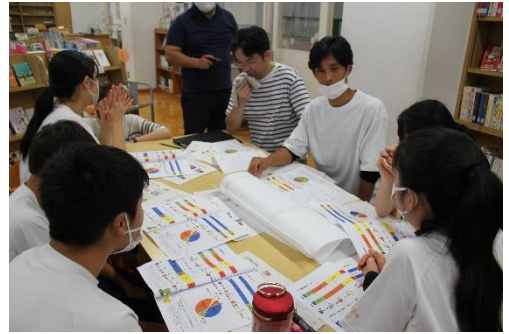
★青少年のネット安全・安心講座 ～みんなのネットモラル塾～

スターキャット・ケーブルネットワーク株式会社に講演を依頼し、みんなのネットモラル塾を行った。「見抜く力」「自分を守る力」を身につけることができるように、ネットでの炎上事件やグループラインでのトラブル、誹謗中傷といった具体的事例をもとに、「どうしてこうなったのか」「どうすればよかったのか」をみんなで考えた。トラブルに巻き込まれないための注意点や情報を発信するときに気をつけるべきことやマナーなどを子どもとともに学ぶことができた。また、保護者として、子どもとともに安全な使い方を話し合いながら、見守っていくことの大切さに気づくことができた。



★第2回学校保健委員会 ～朝食～

前回に引き続き「生活リズム向上プロジェクト～早寝・早起き・朝ごはんで今日も絶好調！～」をテーマに第2回学校保健委員会を開催した。保護者代表としてPTA役員、教員も参加し、生徒と一緒にテーマに関する「赤中のよい点と課題」「学校や家庭で取り組んでいきたいこと」について協議を行った。「朝ごはんを毎日食べている生徒が多い」を良い点として挙げる一方で、「朝食を全く食べない人が増えた」といった課題があげられた。学校や家庭で取り組んでいきたいこととしては、「早寝・早起きをして、簡単なものでも食べるようにする」といった取組が提案された。協議会後は、講師として招いた栄養教諭の先生から、朝ごはんを食べることの意義や効能、中学生にとって朝食がいかに大切かというお話をいただいた。生徒から「自分の生活を改善したい」、保護者からは「朝食のメニューを工夫したい」といった感想が出された。



★PTA環境整備作業

安心・安全で美しい環境をつくることは、子どもたちの情感を育てるには欠かすことができない。そこで、毎年、力のいる作業や高所作業等、普段の子どもたちの清掃活動では手が回らない場所を中心にPTA環境整備作業を行っている。農家も多いため十分な道具の



準備が可能だけでなく、プロ級のスキルのおかげで、2時間程度の作業で校内の環境が見違えるようにすっきりと整備することができた。美しくなった学校に子どもたちが笑顔で登校し、生き生きと活動する姿を思い浮かべながら、気持ちを込めて作業を行った。帰宅後の「今日、学校の〇〇をきれいにしてきたよ。」といった親子の会話も子どもたちの豊かな心を育てると一助になったのではと考えている。

★PTA広報活動を通じて意識を高める

PTA広報誌「絆」を年2回発行している。写真やイラストを多く取り入れることで、親しみやすく分かりやすい紙面作りを心がけている。PTA活動や学校行事、子どもたちの様子などを、紙面を通じて保護者や地域に伝えると同時に実践を呼びかけている。

成果と今後の課題

本年度の取組は、各家庭の実態や全体的な傾向をつかみ、基本的な生活習慣づくりに関心をもち、家族ぐるみで取り組んでいこうとする意識づくりを行う取組であった。少なからず保護者にも今回の取組が意識付けされ、実感して下さったであろうと考える。さらには今回の取組が親子・家族で考え、取り組む内容であったことで、生活習慣の改善だけでなく、家族の繋がりを深めることにも一役買ったのではないかと考える。家庭教育力の向上という面では、十分ではないが、よいきっかけとなったのではないかと感じている。しかし、全体の参加率は低い状況であった。どうすれば参加率を上げることができるのかとともに、親子での学習機会とその内容を更に充実させていくことが今後の課題である。今後も学校の協力を得て、継続的な取組を行うことによって、家族で前向きに相談し、子とともに成長できる家庭を築けるよう、PTA活動を進めていきたい。